

# 世界のマーケティングの権威が認めた、 最大級のブランドデータベースを 成長戦略の指標としてぜひご活用ください！

1993年以來、世界51カ国の  
消費者70万人以上を調査対象としてきた  
「ブランド価値診断システム(BAV)」。  
2015年10月、最新調査スタート！

BRANDASSET® VALUATOR



競争が激化するマーケットの中であらゆる製品が同質化し、もはやスペックだけでは差別化できない昨今。「ブランド」の持つ意味はこれまで以上に大きくなっています。また事業構造が多様化する中、既存の競合相手にとらわれないブランドのフレームワークが必要となっています。私たちは世界で20年以上のデータ蓄積を持つ最大級のブランドマネジメントツール、BAVを駆使してブランド成長のお手伝いをいたします。

## こんな企業にBAVは強力な指標となります。

ブランドの成長力が鈍化・低下している / ブランドの危機的状況を経験している / 海外マーケット進出を考えている / 海外ブランドで日本マーケット進出を考えている / 同ブランドで世界各国に展開している / 複数のブランドを管理している

## BAVはアカデミズム、マーケティング界の権威から 高い評価を得ています。

「数千のブランドについて、これらの変数を測定し、Y&Rは  
どのブランドが成長し、どれが遅れるかがわかると言っている。」

フィリップ・コトラー+ミルトン・コトラー「コトラー8つの成長戦略」(碩学会、中央経済社)

- 田中 洋「ブランド戦略全書」(有斐閣)
- 松浦祥子「グローバル・ブランディング」(碩学会、中央経済社)

## 田中 洋氏

(中央大学ビジネススクール教授)

BAVが登場した20年前は、まだブランドエクイティという用語が注目を集め始めたころであった。驚くべきことに、BAVは現在でもなおその重要な役割を維持し発展し続けている。これほど長寿のシステムに蓄えられたデータを活用することで得られる発見をぜひ活用したいものだ。



# ブランド管理は、グローバルスタンダードのブランド測定から。

BAVは1993年ヤング&ルビカム社で開発されたブランド診断・育成・コントロールのための、世界最大の規模を持つブランドマネジメント・プログラムです。グローバルな視点から、ブランド成長モデルに基づく測定指標を提供します。

## BAVの3つのユニークネス

- ①ブランドは企業側ではなく「消費者の頭の中にある」という視点。
- ②ブランドの確立は知名度から始まる、という常識のウソ。
- ③カテゴリーにとらわれない、リアルな視点。

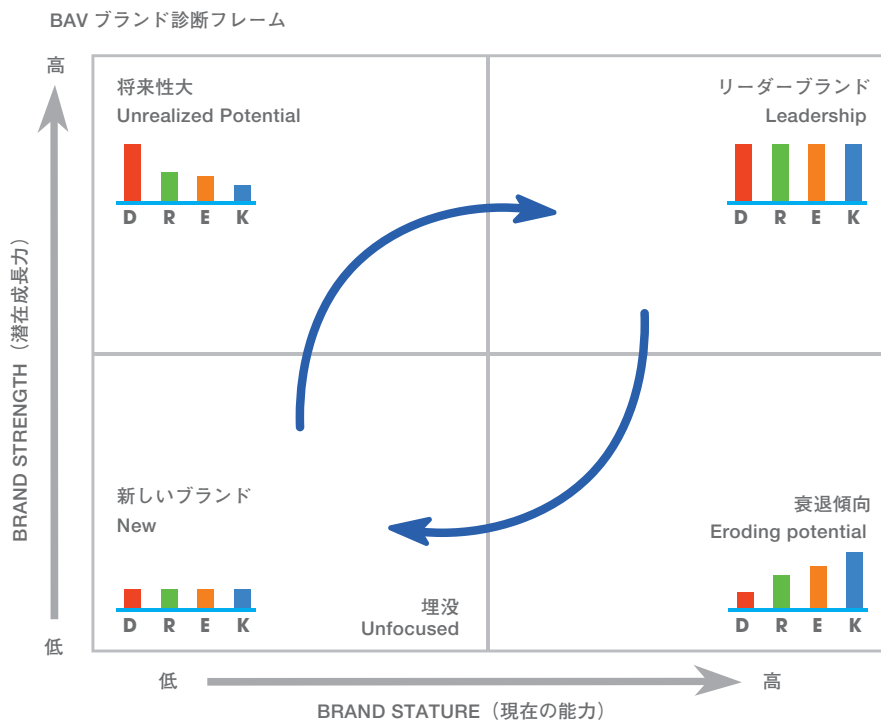
## ブランディングの4つの柱

BAVでは4つの指標から、ブランドの現在能力を判断します。



## パワーグリッドによるブランド診断

「将来の成長力」と「現時点の能力」の2軸で、ブランドの健康状態をグリッド上に示すことができます。この2軸による4つの象限はブランドの成長段階を示し、ブランドは通常、矢印のようなライフサイクルで成長・衰退します。パワーグリッドによって、ブランドがライフサイクルのどこに位置するかを把握することができます。



### 成長するアジア市場においても継続して調査を行っています

※直近のアジア市場 BAV 調査

|      | 日本 | 中国 | インド | インドネシア | マレーシア | 韓国 | タイ |
|------|----|----|-----|--------|-------|----|----|
| 2012 | ●  |    | ●   | ●      |       | ●  |    |
| 2013 |    |    | ●   |        |       |    |    |
| 2014 |    | ●  |     | ●      |       |    | ●  |
| 2015 | ●  | ●  |     | ●      | ●     |    |    |

(2015年は調査予定国)

### フレキシブルに対応できる Q-BAV

BAVのブランドリストに入っていないブランドについても、随時実施可能なQ-BAVの活用によりフレキシブルな対応が可能です。お気軽にご相談ください。

#### ■Q-BAV 活用例

- ・リスト外のブランドを他ブランドと比較したい
- ・調査のタイミングをキャンペーンと連動させたい
- ・独自の調査項目を加えたい

### <BAV2015 JAPAN 調査概要>

- 調査年 2015年10月予定
- 調査カテゴリ数 約130
- 調査ブランド数 約1,000
- 調査対象 18歳-69歳男女
- 調査人数 5,000名
- 調査方法 web調査

BAVに関するご質問・ご相談がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

電通ヤング・アンド・ルビカム株式会社

メールでのお問い合わせ

bav@dyr.jp

お電話でのお問い合わせ

03-5404-9537 (担当/飯島・占部)